

令和4年度 第1回豊川市環境審議会 議事録

日時：令和4年11月14日（月）

午後2時00分～午後3時40分

場所：豊川市役所 本34会議室

■出席者

（委員）

藤田 佳久（愛知大学 名誉教授）
大門 裕之（国立大学法人豊橋技術科学大学 教授）
加藤 勝敏（浜松学院大学 教授）
田中 みや子（愛知県地域環境保全委員 代表）
高木 香苗（豊川商工会議所総務運営委員会 副委員長）
可知 裕章（一般社団法人豊川市医師会 副会長）
小原 博一（一般社団法人豊川市薬剤師会 会長）
安藤 和史（豊川市連区長会 元理事）
溝口 隆文（ひまわり農業協同組合 総合企画部長）
浜口 比呂子（エコ☆はじめの一步 役員）
小嶋 正則（とよかわ里山の会 副会長）
河合 孝枝（東三河総局県民環境部環境保全課 課長）

（事務局）

産業環境部長	森下 保
産業環境部次長兼環境課長	中西 成人
清掃事業課長	二村 崇
清掃事業課主幹	富安 幸久
清掃事業課主幹	岡本 譲
環境課課長補佐	安藤 清
清掃事業課課長補佐	林 朋幸
環境課環境政策係長	高田 直彦

■議 題

（1）豊川市環境基本計画2020実施計画の進捗状況について（令和3年度実績）

■会議内容

1 あいさつ

大門副会長よりあいさつ

会議の成立について報告

本日の会議成立についてご報告します。本日は、委員 14 名中 12 名のご出席をいただいております。従いまして、豊川市環境基本条例第 27 条第 2 項に規定されている定足数を満たしておりますので、本日の審議会が成立したことをご報告いたします。

配布資料および事前送付資料の確認

3 議題

(1) 豊川市環境基本計画 2020 実施計画の進捗状況について（令和 3 年度実績）

(事務局)

概要説明及び事前質問の回答【資料 1】

(事務局)

事前にいただいた意見や本日いただいた意見、また後日いただく意見を反映させ、実績報告書を修正し、最終頁にあるように委員からの意見と市の考えという形でまとめていきたい。その上で、できた案を会長、副会長にはご確認いただきたい。

(会長)

事務局から概要説明と事前にいただいた委員からの質問、意見について、事務局から説明をいただきました。みなさん、ご意見やご質問はいかがでしょう。

(委員)

2 ページ目のエコチャレンジカレンダーの目標指標は児童数を反映したものでしょうか。

出生率を反映した児童数分の提案数とした方がよいのではないかと。

(事務局)

実施計画で 5 か年間の目標値を定めているので、この値は固定したいと思います。しかし、「今年度の達成状況」などのなかで、児童数を配慮した補足説明を加えていきたい。

(委員)

今の質問の補足だが、計画は変えられないと思うので、それでよい。委員の要望に沿った形で表現できるようにほしい。

(委員)

評価を示す「いなりん」のプラカードだが、その下に達成率●%と入れてみてはどうか。説明本文中に「%表記」があるものばかりでなく、「概ね達成」と書いてあるものがあるので、わかりにくい。

(事務局)

承知しました。

(委員)

過去の値を載せているものとそうでないものがある。判断できる参考材料があるとよいので、過去 3 か年分ぐらいのデータをのせた方がよい。説明本文中の「徐々に増えている」という書き方だと、よくわからない。

(事務局)

承知しました。

(委員)

61 ページ目の全体の評価だが、いつから始まったものか、わかるようにしてほしい。

(事務局)

承知しました。

(委員)

各事業において、できる限りアンケートをとり、高評価だったかどうか結果を載せてほしい。それがあると評価しやすい。

(委員)

各計画とも目標、目的、手段がバラバラである。本来、目的に対してどうなったかを報告するものである。

(委員)

「令和 2 年度実績報告抜粋」より

「②環境課以外の事業の評価方法について、カーボンニュートラルに関連するような指標に変えられないか。」と意見をだしたが、なかなか指標化されていない。特に環境基本計画の「1 低炭素型の暮らしを実績する」に係る実施計画は、ぜひ指標化してほしい。CO2 排出量の算出方法がわからないのなら、相談にのる。

(委員)

温室効果ガスの表記のある脱炭素に係る計画は、市として 2 つだけしかない。脱炭素に係る取り組みが少ないと感じるし、脱炭素化への取組に市として動きが見受けられないと感じる。環境審議会会長から市長へ、進言してほしい。

(委員)

59 ページのグラフについて、昨年度、藤田会長から指摘があったはずだが、縦軸が 0 から始まっていない。説明本文中に「原因究明が難しい。」とあるが、0 からグラフを書いていると、違いは目立たず、誤差の範囲内だと思う。

(委員)

6 ページに、令和 5 年 3 月にイオンモールが出店するとあるが、市の環境に関する取り組みを PR してはどうか。

(事務局)

行政が市民に PR していく展示コーナーなどがあれば、活用できるようイオンと交渉していきたい。結果はまたお知らせしたい。

(委員)

6 ページ目のコミュニティバスの再編及び見直しに、電気自動車を導入する計画はあるか。

(事務局)

ない。路線網の見直しであり、車の入れ替えではない。

(委員)

イオンモールが食品残渣からバイオマスガスを取り出す話は、日本初で注目されることにな

る。豊川市としてもこんなことをしていますと言える状況になってほしい。なにもなければない旨の旗を振る。

(委員)

まずは残渣を出ないように食品ロスを優先するべきではないか。

(委員)

おっしゃるとおり。ただ、食材の切れ端など食品残渣は必ず出る。出たものを有効活用してほしいだけである。

(委員)

給食センターの食品残渣はどうしているのか。

(事務局)

大型の生ごみ処理機にかける。ごみの減量目的であり、バイオマスガスは生み出していない。

(委員)

58 ページ目の太陽光発電量は家庭の話か。

(事務局)

市の補助対象だけではないが、一般住宅の話である。

(委員)

この容量で、一般家庭(住宅)だけというのはおかしくないか。内訳まで書かないから評価できない。内訳を教えてほしい。

(委員)

追記質問や意見がある場合、いつまでに事務局に伝えればよいか。他の審議委員もよく内容を確認して質問してほしい。

(事務局)

今月末までにいただけると有難い。

(会長)

事務局は、本日いただいた意見や今月末までにいただいた意見を反映させ、最終的な報告書としてまとめてほしい。

他にご意見等がありますか。

(意見なし)

3 その他

事務局からの事務連絡

会議終了